

# cross care NEWS

vol.30

2026.6

interview

看護小規模多機能  
しるくま野方々々

ゼロプロを導入して1年ほどですが、いかがですか？

**森田** 導入開始当初は手探りでしたが、委員会メンバーのこまめな記録や、諦めずに声掛けをしてくれたことで、段々と他の職員も取り組むようになったと感じています。

**西村** 委員会は介護職である私と看護師 2名で協力して進めています。初めの頃は、ゼロプロ式口腔ケアを週1回で導入し、現在では週2回コンスタントに実施できています。

ゼロプロ導入後の変化について教えてください。

**森田** 職員のお口に対する意識が変わりましたね。

**西村** 入れ歯がかけている等の変化に気がつくようになりました。通所のご利用者さまがきれいなお口でご帰宅されることも嬉しいです。また、お口の状態がOHATの数値で良くなっていることを実感できることは、モチベーションにもつながります。

**森田** お口に関する知識がついたことで、お看取りの方への口腔ケアも積極的に行うことができています。お看取りの時期はお口の中が荒れますが、口腔ケアのスキルを身に着けたことにより、職員が自信を持ってケアしています。

管理者  
森田さん



介護職  
西村さん

今後どのようになっていくと思いますか？

**西村** 初級は全員合格したので、今度は委員会メンバーから中級を取得していきたいです。

**森田** スキルアップができるという点では、採用にもつながるのではないかと考えています。

**西村** 他の職員もセミナーで得た知識を実践できていると感じているので、みんなで誤嚥性肺炎をゼロにしたいです。

**森田** ご利用者さまが入院せずに暮らしていけるようサポートすることが、私たちの役目です。1年前と比べ、肺炎の入院は減っています。この調子で継続して取り組んでいきたいと考えています。

導入時に苦戦した点はありますか？

**西村** 正しい口腔ケアをするためには、マニュアルを見ただけではなかなか上手くできませんでしたね。セミナーを受講しないと実践のイメージが湧かないんです。初級セミナーの受講を徹底する必要があると思いました。

**森田** そのための時間の確保が大変だったのですが、委員会メンバーが他の職員のスケジュールも調整してくれて実現しました。その結果、全員初級に合格することができました。

誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトに実際にご参加頂いている施設職員さんにインタビューを行い、リアルな声を隔月発行にてお届けしています。普段はなかなか聞くことのできない、ゼロプロの舞台裏をぜひお楽しみください。

information

ゼロプロアワード2026  
を開催しました



6月16日にオンライン上にて「ゼロプロアワード2026」を開催しました。当日は29事業所、60名以上の施設関係者のみなさまにご参加いただきました！  
映えある総合グランプリは、なんと今年は2施設ございます。おめでとうございます。

特別養護老人ホーム

白熊園さま

職員の知識不足を補うためのセミナー受講の時間確保に苦戦しました。どうか時間を確保しようとする過程が、日常業務の見直しにもつながったと感じています。前月の振り返りで口腔ケアの努力を見える化したり、啓発ポスターを作成したりすることによって意識向上への工夫を行ったことも良かったと思います。

特別養護老人ホーム

ふるさとさま

以前は法人としての受賞、今回は特別養護老人ホームでの受賞ということで、2度のグランプリ受賞に驚いております。歯科衛生士が入社し、スタッフ一人ひとりのスキル確認やアドバイスを経て、口腔ケアの質が上がり物品の管理も整いました。ゼロプロをきっかけに近隣歯科医師との連携も強化することができ、OHATの点数の安定や肺炎減少につながっていると感じています。

編集後記

最後まで読んでくださり、ありがとうございます。今回のvol.30では、初めて看護小規模多機能のお話を伺いました。さまざまな形の支援を通して利用者さまに寄り添っていらっしゃるなかで、ゼロプロに取り組んでいただいております。

また、今年もゼロプロアワードへのご参加、ありがとうございました！

2026年6月 川谷

＼check!!／

公式LINE、instagram、YouTube  
にて情報を発信しています。

SNS



株式会社 クロスケアデンタル

編集担当：川谷

お問合せ：092-986-9600

info@crosscare-dental.jp

